

1 概況

摘採は、各地区でばらつきがあるものの冷蔵網で1～5回目、秋芽網では、3～7回目を実施しています。
植物プランクトンはほとんどの漁場で減少傾向です。栄養塩は、知多地区のほぼ全域で不足しています。一方、西三河地区では、栄養塩は十分量ありました。
あかぐされ病が蔓延している漁場はみられないようですが、のり芽が伸び過ぎた網を全力で摘採することにより、病害の拡大を防止し、少しでも長い期間摘採できるように努めてください。

2 気象・海況

<水温> 2月12日

2～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	6.9℃
	平年差	-0.4℃

<水温> 2月13日

漁生研 (-1.0m)	10時水温	9.3℃
	平年差	-0.2℃

<潮位偏差> 2月12日

名古屋港	日平均偏差	-11 cm
	5日平均偏差※	-12 cm

※2月8日～12日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北部: やや少ない、中南部: 少ない	なし	植物プランクトンは少ない
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンは少ない
西三河地区	西尾・味沢: やや多い、一色～衣崎: 多い	なし	植物プランクトンは散見～少ない
東三河地区	本年度の調査終了		

※栄養塩基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000～、やや多い: 5,000～10,000、少ない: 1,000～5,000、散見: 100～1,000、ほとんどいない: ～100

<気温動向の予測> (気象庁週間天気予報より 予報期間: 2月14日から2月19日まで)

今後1週間	期間の前半では平均気温が高めに推移しますが、期間の後半は寒波の影響により、気温は低下する見込みです。
-------	--

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病被害その他
知多西岸地区	冷蔵: 1～5回 一部で秋芽	300～1,600枚	色調は漁場による が概ね良くない	一部でカモ	あかぐされは一部で見られる
知多東岸地区	秋芽: 5～7回	400～700枚	色調は 概ね良くない	なし	島嶼部の一部では網上げ
西三河地区	冷蔵: 3～4回 一部で秋芽	800～1,100枚	色調は回復傾向	なし	目立った病被害なし
東三河地区	秋芽: 3回	1,500～2,000枚	色調は漁場による が概ね良くない	不明	目立った病被害なし

4 今後の管理

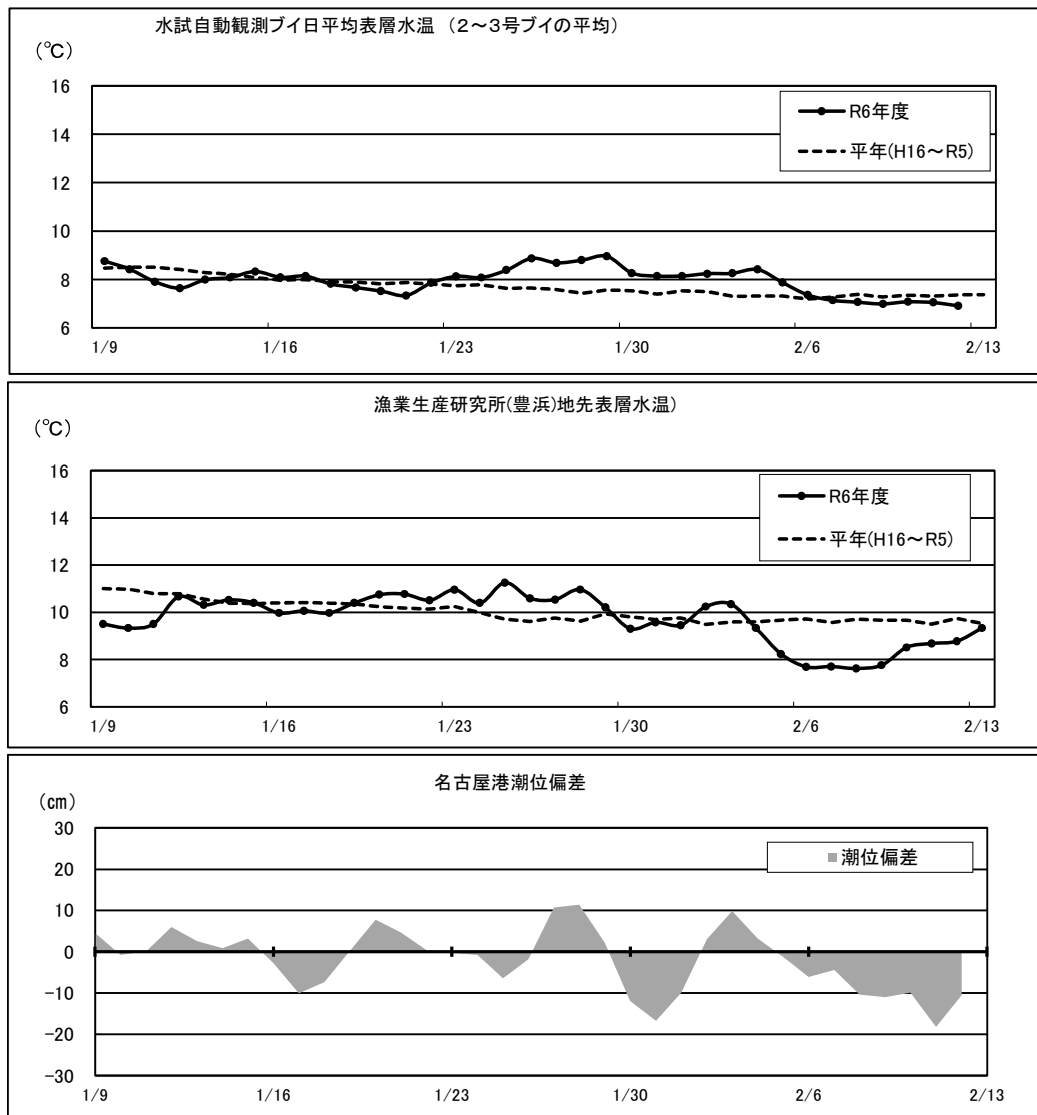
- あかぐされ病の予防のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。

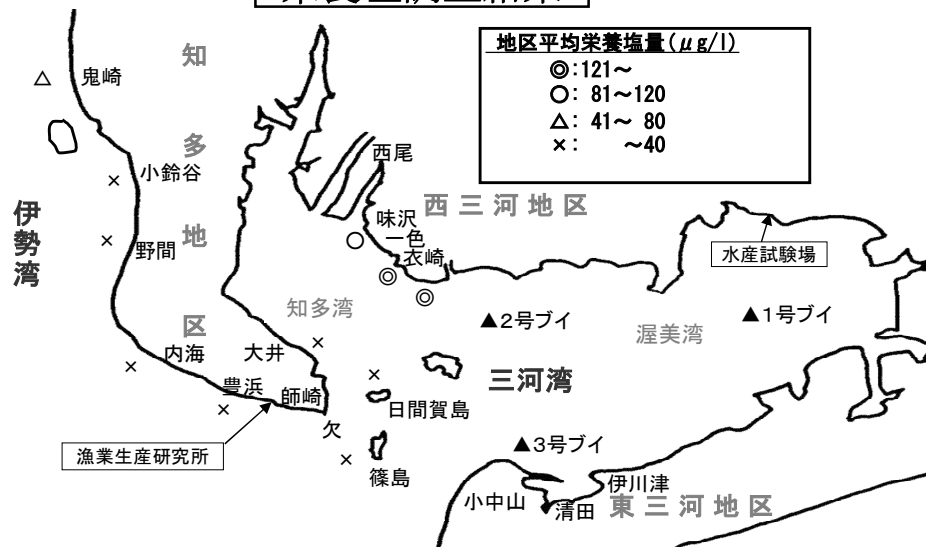
アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は2月20日(木)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査結果



栄養塩調査日：知多：2月13日（木）、西三河：2月12日（水）、東三河：調査終了
調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会